

# 不景氣はいつ来る乎？

マスタール 星

大戦後には不景氣が来るだらうといふ話はこれまで屢々聞いたこととはあるけれども、いくら大戦後だからと云つて必ず一度は不景氣が来ねばならぬものと定つても居ないし、假令一度は来るものとしても何年の後に来るものやら分つても居ない。若し果して之れが来るものとするならば、國民一般が努力して之れに對する豫防法を講ずるやうにすれば来ないで済む。

一體、不景氣とは何のことをいふかと云へば生産過剰の場合をいふのである。だからいつ不景氣が来るかといふ問題は、いつ生産過剰になるかといふ問題を研究すればよい。

そこで先づ戦後に於ける世界經濟界の一般を觀察すれば、六ヶ年間の間不生産的の戰爭に従事した爲め、いづれも物資の缺乏を來し、物價騰貴といふことが世界一般を通じての現象として現はれて來たことであるが、殊に歐洲交戰國の物資缺乏は其の極に達してゐる。

而していつの之れが圓滿なる解決が出来るであらうといふことに就て多數の經濟學者達の觀測する所によれば、大概五六年乃至十年はかゝるであらうといふことである。

戰爭で儲けた南亞米利加の如き國も盛んに需用を來たし、之を満足にも尙ほ且つ數年を要すると思ふ。かくて今度の戰爭で食糧品の如きは非常に騰貴して、其の爲め農業國はいづれも相應に富み榮えることになつたのである。

ところで、日本の現状はどうか

## 婦人と妊娠

(近頃の避妊傾向)

岩田 靜子

統計によりますと三月頃から始めて五月頃までは結婚が多く、また妊娠も多し月だと申します。それに氣候と生理的關係と今一つに婦人の容色も増すからと説明されてございます。いづれにしても春は婦人の幸福な季節でございまして、殊に妊娠と申しますものは、婦人の婦人たる最上の義務と權利とを盡すべき幕が開かれるのでございまして、「女は弱しされど母は強し」と申します言葉は深く味はふべきもので、女は母たることによりまして大なる誇りと強さを感じますばかりでなく家庭も充實と幸榮とを來します。女大に子なき婦人は去ると云つて、まるで不具者かなんぞのやうに人間扱ひされなかつたのも、強ち男子の横暴家族主義の餘弊とばかりも申されまいかと思ひます。

子を生むといふことは婦人に取つてそれほど意義の深い大事の仕

## 朝鮮海峽横断飛行成功 陸軍飛行校



上掲寫眞の中往還に於て朝も鮮かなる手際を示したるは後列中央の田中中尉向て左端の難波中尉及び前列左端の阪口大尉諸氏とす

これを見れば、世界的の需要に應ずることも出来るであらうと思ふ。果して然らば、如何にして世界の需要を満すかといふことが問題であつて、生産過多になるやうなことは一寸想像も出来兼ねる。随つて不景氣の如きは來させずに済む譯である。

これを來させると來させないと一に國民の努力如何にあることであるから、お互にさういふ風に努めることは國民としての義務であり又幸福を保つ所以である。來させないでも済む不景氣を何等の努力もせずして今に來るやうに構えてゐると枯尾花が幽霊に見えるやうに心理的に不景氣の幻影を見るであらう。

務と權利とを盡すべき幕が開かれるのでございまして、「女は弱しされど母は強し」と申します言葉は深く味はふべきもので、女は母たることによりまして大なる誇りと強さを感じますばかりでなく家庭も充實と幸榮とを來します。女大に子なき婦人は去ると云つて、まるで不具者かなんぞのやうに人間扱ひされなかつたのも、強ち男子の横暴家族主義の餘弊とばかりも申されまいかと思ひます。

子を生むといふことは婦人に取つてそれほど意義の深い大事の仕

事でございますが、どういふ調子でございませうか、欲しいと思つてゐる方には出來なくて、貧乏者の子澤山とやらで、モウ要らぬといふと思つてゐる方には餘計に授かるやうに見えます。

子供を大きく育て、一人前の人間といたしますには母親の苦勞はもとよりのこと經濟上の關係も大したものがございます。殊に今日のやうに物價騰貴の世の中になりましては尙更のことでございますが、近ごろ避妊といふものが、よりより多くなつて行はれる

(少しは昔からあつたせうが)と聞きましては法律問題は別といたしましては實に由々しい社會問題、婦人問題では無からうかと思ひます。

これは經濟問題の外に浮つ調子の享樂主義とか申します思想が婦人の間にも浸みて來たやうに思はれますから、斯う云ふ傾向を正しく導きます爲めに婦人自からの反省と政治家、思想家、教育家その他の婦人問題に携はれるお方々の深い御熟考をお願ひ申し上げます。

見下... 古 今 東 西